



第3回チェコ・日本科学技術デー

開催期間：2007年5月22日～24日 於東京

招待状



Ministry of Foreign Affairs



第2回チェコ・日本科学技術デーは、2006年5月15～17日に、チェコ共和国のイジー・パロウベク前首相とイジー・ハベル前経済担当副首相の主催により、プラハにて、日本の政府、企業代表者、ハイテク・エキスパート、研究者等日本側からの参加者53名を含む、総勢約140名が出席して行われました。

この前回会議の成功に鑑み、チェコ側、日本側各参加組織は、2007年5月・東京での次回会議開催を目指すことで合意に達しています。

第3回チェコ・日本科学技術デーは、チェコのみレク・トポラーネク首相主催、日本の外務省、経済産業省、及び文部科学省の協力の下、執り行われます。また今回の会議は、2007年2月に実現したチェコのパーツラフ・クラウス大統領日本公式訪問の具体的なフォロー・アップとしても企画されています。

チェコ・日本科学技術デーの主要開催目的：

- 合同R & Dプロジェクト促進、及び国際市場における新開発ハイテク製品紹介促進の可能性探求、詳細考察を目的とした、政府関係者、最先端研究者、企業代表者の議論の場を提供する
- 科学技術イノベーション部門における、チェコ・日本間の、成功により更に加速された結果重視の協力を拡大し深める
- チェコ・日本間の科学・技術協力を、この部門における効率、成功度ともに高い国際的な試みの象徴とする

このたびも、チェコ産業貿易省の外郭団体、ビジネス・投資開発庁「チェコインベスト」、プラハのチェコ技術大学（CTU）が、チェコ産業貿易省（MIT）、教育・青年・スポーツ省（MEYS）、外務省（MoFA）、在京チェコ大使館、チェコ共和国工学アカデミー（EA CR）及びチェコ共和国科学アカデミーと協力、また日本の関係団体、すなわちジェットロ（ジェットロ・プラハ事務所を含む）、日本国外務省、在チェコ日本大使館、経済産業省、文部科学省、及び経団連（日本経済団体連合会）の助力も得て、会議・イベントの組織にあたっております。

チェコ側代表団の団長は、チェコ政府副大臣クラスになるものと予定されています。

セミナー・プログラム、及びスケジュール（別添）は、細部において今後若干の変更の可能性が 있습니다。最終版は、セミナー開始直前に参加者の方々に配布される予定です。

登録：

セミナー出席ご希望の方は、別添の登録フォームを2007年5月11日までにご送付の上登録申し込みを行なってください。

参加人数には限りがございますので、できるだけ早くご登録くださいますようお願い申し上げます（登録は先着順）

第3回チェコ・日本科学技術デー 開催プログラム

5月22日 (火)

セミナー: 会場: ジェトロ本部内5階・ジェトロ・ホール (東京都港区赤坂1丁目12 - 32、アーク森ビル)

9:30 - 10:00	出席者登録
10:00-10:45	セミナー開会式 司会: チェコインベスト長官顧問 ヨゼフ・レーブル氏
10:00-10:10	チェコ側代表団長 教育・青年・スポーツ省次官パベル・コマーレク氏による開会の辞
10:10-10:20	外務省事務次官 谷内正太郎氏ご挨拶
10:20-10:30	ジェトロ代表者ご挨拶
10:30-10:35	産業貿易省 コンセプト部 リハルト・ノウザ部長ご挨拶
10:35-10:45	経団連ヨーロッパ地域委員会 共同委員長 佐々木元氏ご挨拶
10:45-10:50	チェコ共和国 ヤロミール・ノボトニー大使ご挨拶
10:50-11:50	セッションI: R&D部門における協力の可能性 司会: 金沢学院大学 石田寛人学長
10:50-11:10	チェコインベストR&D部長 イジー・クレフル氏 R&D協力・投資対象としてのチェコ共和国
11:10-11:30	産業技術総合研究所 吉川弘之理事長によるスピーチ
11:30-11:50	チェコ共和国工業所有権庁 カレル・チャダ長官 イノベーション、テクノロジー移行手段としての工業所有権の保護
11:50-12:40	セッションII: 産学協同と欧州宇宙プロジェクト 司会: 産業技術総合研究所 吉川弘之理事長
11:50-12:05	チェコ技術大学 (CTU) 学長 パーツラフ・ハプリーチェク教授 大学、イノベーション企業間における協力: R&Dのための人材、R&D成果
12:05-12:15	プラハ・カレル大学学長 パーツラフ・ハムプル教授 国際産学協同パートナーとしてのチェコの非技術系大学セクター
12:15-12:25	チェコ共和国工学アカデミー (EA CR) 学長 日本工学アカデミー名誉会員 ベトル・ズナ教授 工学アカデミーの、教育、科学、技術における役割
12:25-12:40	チェコ宇宙連盟 ベトル・バレシュ会長 チェコ共和国の欧州宇宙プロジェクト参与の可能性
12:40-14:00	ピュッフエ・ランチ
14:00-15:00	セッションIII: チェコ・日本間R&D協力のケーススタディ; R&D協力の機会 司会: 東海大学 藤岡知夫氏
14:00-14:10	チェコ技術大学 (CTU) ウラジミール・マジーク教授、イジー・マタス教授 CTUと日系企業 (トヨタ自動車、デンソー、日立製作所) との協力
14:10-14:20	科学アカデミー トマーシュ・ユングウィルト氏、ヤン・フルシャーク氏 科学アカデミーと日立製作所との協力
14:20-14:30	プラハ・カレル大学 (CU) ウラジミール・マトリーン教授 CU国際合弁大学院と国立材料工学研究所
14:30-14:50	チェコ共和国科学アカデミー附属テクノロジー・センター カレル・クルサー チェク氏 チェコ・テクノロジー・ビジネス培養 - R&D協力と合弁の機会
14:50-15:00	チェコ共和国科学アカデミー パーツラフ・スクレニチカ教授 アカデミーと民間セクターの協力
15:00-16:50	セッションIV: 研究成果とその4大優先部門における応用 司会: 新エネルギー産業技術総合開発機構 シニア・プログラム・マネージャー 宮田清蔵博士

- 15:00-15:20 ブロック1： バイオ・テクノロジー部門におけるチェコの研究現状
 報告者：オストラバ市保健局 トマーシユ・オツエルカ氏
 残留性有機物の分解テクノロジー
 幹細胞、バイオマテリアル、組織工学におけるハイドロゲル、巨大分子対象治療学、診断・治療用結
 たんぱく質、細胞周期治療学
- 15:20-15:40 ブロック2： ナノテクノロジー部門におけるチェコの研究現状
 - 応用及び日本のパートナーとの協力をあてた報告
 報告者：フランチシエク・ベテルカ氏 NANOPIN (国立ナノ表面層工学研究
 センター)
 チェコにおけるナノテクノロジー；光触媒 / ライト・クリーニング
 ナノ表面層材料；ナノコンポジットのプラズマ化学作製とその取扱い
 エルマルコ社 テンダイ・ヌグウェナ氏 - ナノファイバー材料の工業生産
- 15:40-16:00 コーヒー・ブレーク
- 16:00-16:20 ブロック3： 応用自然科学部門におけるチェコの研究現状
 報告者：科学アカデミー パーツラフ・スクレニチカ教授
 将来性ある熱プラズマ・テクノロジー、原料・バイオストラクチャーの試験と加工、原子力分野にお
 けるイノベティブ・ソリューション、ナノパーティクルの危険性、超解像マイクロ波・赤外線顕微鏡
- 16:20-16:50 ブロック4： 工学部門におけるチェコのイノベーション
 報告者：チェコ技術大学 (CTU) ウラジミール・マジーク教授
 ディジション・メイキングの知的アルゴリズム、スピーチ・レコグニション、
 自動翻訳、マルチ・エージェント・システムの工業応用
 CTU パーツラフ・フラバーチ教授：先進コンピューター・ビジョン・
 アルゴリズム&ソリューション
 CTU ミハエル・マラーシエク教授：Sスライディング・ステア - 新しい
 コンセプトに基づく工作機械
 AS CR パーツラフ・ペカーレク教授：残留性有機汚染物質破壊テクノロジー
- 16:50-17:55 パネル・ディスカッション：チェコ、日本のキー・スピーカーによる概論
 司会：外務省 カレル・ジェブラコフスキー移動大使 (科学、技術、教育)
 キー・スピーカー：
 -- MEYS パベル・コマーレク次官
 -- 金沢学院大学 石田寛人学長
 -- チェコインベスト R&D部 イジー・クレフル部長
- 討論主要議題：
 -- チェコ・日本両国相互協力の可能性
 -- R&D部門において日本がチェコに期待すること、チェコが日本に
 期待すること
- 17:55-18:00 司会者による閉会の辞
- 18:00-20:00 ビュッフェ・ディナー・パーティー

5月23日 (水)

会場：東京都渋谷区広尾2-16-14

18:30-20:00 在日チェコ大使館におけるレセプション
 2007年度チェコ・日本科学技術デー閉会式

チェコ代表団のみを対象としたプログラム

5月23日 (水)

- a) チェコ・日本政府関係者会談
 - b) 横須賀リサーチパーク (YRP) 訪問
- 11:00-13:00 丸の内ホテルよりYRPへ移動 (バス)
- 13:00-15:00 YRP 見学
- 16:30-18:00 YRPより丸の内ホテルへ移動 (バス)

5月24日 (木)

- a) チェコ側各参加者の、日本のパートナー個別訪問・会談
 - b) 産業技術総合研究所 (AIST) 訪問
- 13:00-15:00 丸の内ホテルより筑波のAISTへ移動 (列車)
- 15:00-16:30 AIST - 筑波研究センター見学
- 16:30-18:30 AISTより丸の内ホテルへ移動 (列車)

5月25日 (金)

- a) チェコ側各参加者の、日本のパートナー個別訪問・会談
- b) チェコ側参加者出発

セミナー・プログラム、及びスケジュールは、多少変更される可能性があります。最終版は、セミナー開始直前に、受付にて参加者の方々に配布される予定です。